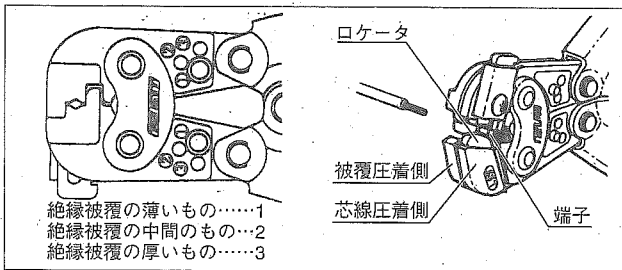


●使用方法

1. ハンドルをいっばいに握ってハンドルを全開にします。
2. 電線の絶縁被覆の厚さにより被覆側のクリンプハイトは3段階に調節できますので調節ピンにより最適の状態になるようにセットしてください。  
調節ピンは、同じ番号の穴に差し込んでください。
3. 端子（スリーブ）を図のように歯形部へ挿入します。このとき芯線圧着側と被覆圧着側の方向を間違えないように注意してください。  
スリーブを圧着するときは、ロケータを取り外して使用してください。
4. 端子（スリーブ）が落ちない程度にハンドルを軽く握ります。
5. 所定の長さに被覆剥ぎした電線を根もとまで挿入します。
6. 成形確認機構が外れ、ハンドルが自力で全開するまで荷重を加えます。
7. ハンドルを開き、圧着端子または、スリーブを取り出し正しく圧着されているかチェックします。



●電線組合せ例

端子およびスリーブの呼び	絶縁被覆付圧着端子より線mm <sup>2</sup>	絶縁被覆付圧着スリーブ		工具ダイス部の呼び
		直線突き合わせ用(B)より線mm <sup>2</sup>	直線重ね合わせ用(P)より線mm <sup>2</sup>	
2	1.25 2	2と2	0.75と0.75 0.9と0.9 1.25と1.25	2

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

製造年月	
------	--



# 取扱説明書

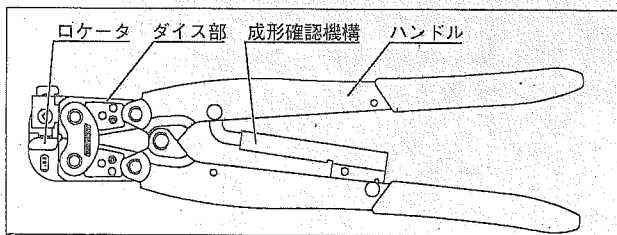
4号D

## 《絶縁被覆付圧着端子・スリーブ工具用》

### ▲ 注意

1. 可動部に触れないでください。  
●はさまれけがの恐れがあります。
2. 工具は、圧着する端子およびスリーブに合ったものを使用してください。  
●組合わせをまちがえると適正な接続性能が得られません。また、工具の故障やけがの原因となる恐れがあります。
3. 工具は、成形確認機構により完全に圧着できるまでハンドルが開かない構造になっておりますので無理に開かないでください。  
●無理に開きますと故障の原因となる恐れがあります。
4. 工具をハンマーのかわり等、用途以外には使用しないでください。
5. 作業場は、いつもきれいに保ってください。  
●ちがった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
6. 子供を近づけないでください。  
●作業者以外、工具に触れさせないでください。けがの恐れがあります。  
●作業者以外、作業場に近づけないでください。けがの恐れがあります。
7. 工具をより長く快適にお使い頂くため、しゅう動部や軸部には、月に1回～2回注油してください。また、ご使用后工具全体を油布で拭き保管してください。

●各部のなまえ



●仕様

適用端子スリーブ	適用電線断面積 mm <sup>2</sup>	質量	全長
2mm <sup>2</sup>	0.75 0.9 1.25 2.0	455g	265mm